

小学校国語科における読書意欲を高める 学習指導に関する研究

—文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れて—

江刺市立岩谷堂小学校 教諭 澤田 美樹子

I 研究目的

国語科の学習においては、国語による表現力と理解力を育成し、伝え合う力を高め、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語を尊重する態度を育てることはもとより、生涯にわたって読書に親しみ、読書をとおして生活を豊かにする人間を育成することが求められている。読書は、知的欲求を満たし、豊かな心を育てるうえで重要なはたらきを担っている。そこで、読む楽しみを児童が実感し、もっと本を読みたいという読書意欲を高める指導が必要である。

しかし、児童の実態をみると、読書に対しての取り組みには一人一人違いがあり、長編の本を読みこなす児童もいれば、読書に対しての集中力が持続せず、楽しんでいる様子がみられない児童もいる。これは、文学的な文章の指導において、教材文の詳細な読解に重点が置かれがちであったり、児童に読書の楽しさを味わわせる指導が十分に行われてこなかったりしたことに要因があると思われる。

このような状況を改善するためには、核となる教材文に強く興味・関心をもつ段階、教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階、教材文と関連した文章を対象を広げ読みの楽しさを味わう段階に、理解し、楽しみ、深く考えるためのゲーム的な活動を通じて児童を本の世界に引き込む「アニメーション活動」を取り入れ、読書の楽しさを実感させる指導が必要である。

そこで、この研究は文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れることにより、小学校国語科における読書意欲を高める学習指導について明らかにし、小学校国語科の学習指導の充実に役立てようとするものである。

II 研究仮説

小学校国語科において、文学的な文章の指導の学習指導過程の各段階に、次のようなゲーム的な活動を通じて児童を本の世界に引き込む「アニメーション活動」を取り入れれば、読書の楽しさを実感し、読書意欲を高めることができるであろう。

- 1 核となる教材文に強く興味・関心をもつ段階におけるあらすじをつかむ活動
- 2 教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階における自分の視点で内容をとらえる活動
- 3 教材文と関連した文章を対象を広げ読みの楽しさを味わう段階における自分の考えを表現する活動

III 研究の内容と方法

1 研究の内容

- (1) 小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する基本構想の立案
- (2) 文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案の作成
- (3) 学習指導案の作成
- (4) 授業実践及び実践結果の分析と考察
- (5) 小学校国語科における読書意欲を高める学習指導についてのまとめ

2 研究の方法

- (1) 文献法
- (2) 質問紙法
- (3) テスト法
- (4) 授業実践

3 授業実践の対象

江刺市立岩谷堂小学校 第4学年 1学級 (男子18名 女子22名 計40名)

IV 研究結果の分析と考察

1 小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する基本構想

- (1) 小学校国語科における読書意欲を高めることに関する基本的な考え方

読書とは、本を読む行為であり、一冊の本の内容を文章の表意解釈にとどまらず、読み取った内容を新しく自己の内面に自分のものとして価値付けることである。そして、読書の楽しさとは、価値付けをしたことで、自己の内面がより質的に深められたことを実感することによって生まれるものと考えられる。そこで、本研究における読書意欲とは、「本から新たな知識を得、自己の内面に価値付けようとする意思」とおさえ、【表-1】のように意識と力の両面から構成されるものと考えられる。

【表-1】読書意欲の構成要素と意味

構成要素	構成要素の意味
かかわろうとする意識	本に主体的にかかわろうとする意識（知的好奇心、探究心、満足感）
読み取る力	本の内容を全体的に把握しイメージを再生する力
考える力	読み取った事柄について感想や意見を持ち、自己の内面を深める力

かかわろうとする意識とは、読書意欲の基盤となる意識である。本または教材文に興味・関心を抱いたり、内容に思いをめぐらしたりといった知的好奇心、登場人物の心情や話の展開について考えようとする探究心、本を読んだことの価値に気付いたり、また、さらに本にかかわろうとしたりする満足感がその内容である。このかかわろうとする意識を高めていくけん引役になるものが、読み取る力であり考える力であると考えられる。読み取る力は、部分部分の理解に立ち止まることなく、登場人物の特徴、行動やあらすじをとらえ想像したことを思い描く力のことをいう。従来の読解のように場面の詳細な読解活動によってではなく、本または教材文を全体的に扱うことによって育つととらえる。考える力とは、読み取った事柄について、自分の生活経験や考え方と登場人物とを比べながら感想や意見をもつことで、自分の考えを深めたり新しい考えに気付いたりといった、自己の内面を深めることをいう。この考える力は、読み取る力を受けて高まるものと考えられる。

また、本研究の目指す読書意欲が高まった児童の姿を「自己の内面の深まりを実感し、主体的に本を読もうとする児童」ととらえる。

- (2) 文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れることの意義

本研究で取り上げる「アニメーション活動」は、スペインのM・サルト氏が中心となって実践してき

た「読書へのアニマシオン」の手法をもとにしている。

「読書へのアニマシオン」は、児童の読む力を引き出し自由で自発的な読書ができるようにすることをねらいとしている。そのために、一冊の本を集団で読み合い、「作戦」と呼ばれるゲーム的な活動を行う。現在75の作戦が日本に紹介されている。

「アニマシオン活動」は、その75の作戦のなかから、「あらすじをつかむ活動」「自分の視点で内容をとらえる活動」「自分の考えを表現する活動」にあたる活動を選び出し、教材文とそれに関連した文章を題材に、学習指導過程の各段階のねらいに応じて、活動形態や内容を工夫した活動である。

「アニマシオン活動」を取り入れた指導をすることは、読書意欲を高めるうえで、次のような三つの意義がある。第一に、目的意識をもって本にかかわらせることができることである。「アニマシオン活動」は、理解し、楽しみ、深く考えるためのゲーム的な活動である。そのため、読書に対して楽しんでいる様子がみられない児童でも、抵抗感を抱くことなく本にかかわり、読みの対象を広げることができる。第二に、読書の技術を自然に身に付けさせることができることである。各段階のねらいに応じた作戦を行うことにより、児童は言葉に注意して読み、内容を把握したり、その仕組みや面白さに気付いたりすることができる。第三に、集団思考をとおして読みを深めさせることができることである。児童は、まず個人で読み、さらに集団での読みの共同体験をする。その過程において、いろいろな読みがあることに気付き、個人の読みをさらに深めることができるようになり、それが、自己の内面を深めることにつながると考える。

以上のことから、「アニマシオン活動」を文学的な文章の指導に取り入れることによって、読書の楽しさを味わわせ、読書意欲を高めることができると考える。

(3) 文学的な文章の指導に「アニマシオン活動」を取り入れた指導の展開

「アニマシオン活動」を取り入れた読書意欲を高める学習指導過程を、「核となる教材文に強く興味・関心をもつ段階」「教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階」「教材文と関連した文章に対象を広げ読みの楽しさを味わう段階」の三段階とし、それぞれの段階に「アニマシオン活動」を位置付ける。それぞれの段階では、児童は次のような活動を行う。

ア 核となる教材文に強く興味・関心をもつ段階

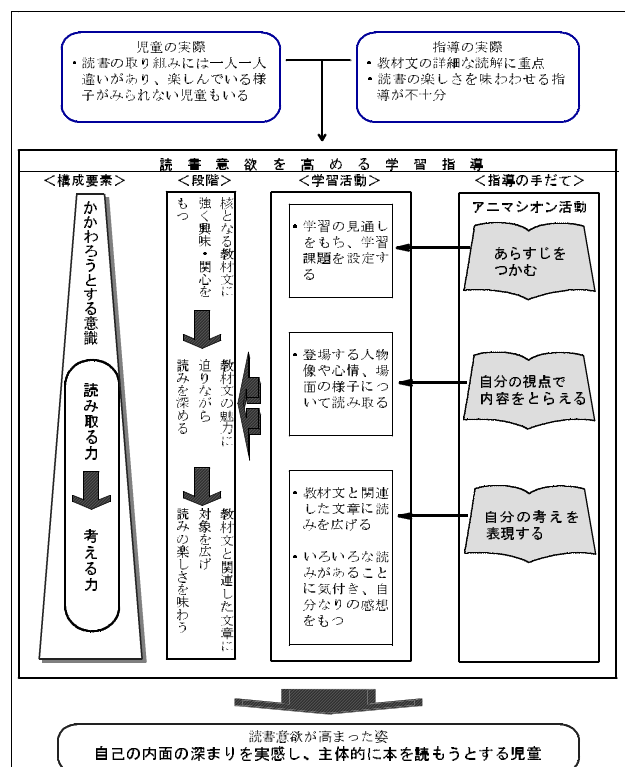
教材文の間違い探しや場面探しといった活動を行い、あらすじをつかむ。この活動をとおして、「アニマシオン活動」を取り入れた学習の見通しをもち、学習課題を設定し、さらに核となる教材文に強く興味・関心をもつことができると考える。

イ 教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階

文章の言葉から登場する人物像や心情、場面の様子を想像しながら読み取る活動を行い、自分の視点で内容をとらえる。この活動をとおして、教材文の魅力に迫り、読みを深めていくことができる。また、次段階への意欲付けにもなると考える。

ウ 教材文と関連した文章に対象を広げ読みの

楽しさを味わう段階



【図-1】小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する基本構想図

教材文と関連した文章のなかから好きな作品を選択し、内容を読み取る活動を行い、その内容や読んだ感想、考えを交流し、自分の考えを表現する。この活動をとおして、いろいろな読みがあることに気づき、自分なりの感想をもつことで、教材文と関連した文章を対象を広げ読みの楽しさを味わうことができると思う。

(4) 小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する基本構想図

小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する基本構想図を、前ページ【図-1】のように作成した。

2 文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案

(1) 実態調査結果の分析と考察

指導試案を作成するにあたって、国語科の学習に対する意識の実態を把握するために、調査問題を作成し、調査を実施した。その結果をふまえて、文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案を、【表-2】のように作成した。

【表-2】文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案

段階	学習活動	「アニメーション活動」	指導上の留意点
1	学習課題を設定する	あらすじをつむぐ活動 教材文の興味深い箇所や場面探しの活動をする ・作戦1「ダウトまさがせ」 ・作戦2「物語ばらばら事件」	あらすじや登場人物の特質、行動になるまで言葉、通う言葉に置き換えて転換する ・聞く前に、聞くポイントを定める。 ・時間的順序になる言葉に番号をふく、その言葉を考えさせる
2	学習意欲を高める	自分の視点で内容をとらえる活動 文章の言葉から人物像や場面の様子を想像する ・作戦3「名探偵はわたしだ！」 ・作戦4「本のけらが語り出す」 ・作戦5「ぼくのタイトル、ナンバー1」	教材文全文を一つのまとまりとして、「アニメーション」活動に活用し、読み進めながら対象を広げることと、読み進めた本文と関連した本を紹介し、並行読書を実施させる
3	読書意欲を高める	自分の考えを表現する活動 自分達が作った問題さぐるグループに出し、答えを尋ねる活動をする ・作戦6「クイズ大作戦」 ・作戦7「本のけらとわたしを交流する活動をする」 ・作戦8「本を語ってわいわい話そう」	図書館に実際に行き、本の探し方を知らせる ・「クイズ大作戦」に参加するという目的意識をもたせた読書させる ・本の紹介活動により、さらに並行読書を実施させる
4	読書意欲を高める	自分の考えを表現する活動 自分達が作った問題さぐるグループに出し、答えを尋ねる活動をする ・作戦6「クイズ大作戦」 ・作戦7「本のけらとわたしを交流する活動をする」 ・作戦8「本を語ってわいわい話そう」	図書館に実際に行き、本の探し方を知らせる ・「クイズ大作戦」に参加するという目的意識をもたせた読書させる ・本の紹介活動により、さらに並行読書を実施させる

(注) □ は、「アニメーション活動」の手だてを示す

(2) 検証計画及び調査計画

授業実践をとおして指導試案の妥当性をみるために検証計画を【表-3】のように、指導の手だてが児童にどのように受けとめられたかを確かめるために調査計画を【表-4】のように作成した。

3 単元「本の世界を広げよう」の学習指導案（本資料においては省略）

4 授業実践及び実践結果の分析と考察

(1) 文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた授業実践の概要

ア 授業実践の計画

(イ) 対象

江刺市立岩谷堂小学校第4学年

1 学級（男子18名女子22名計40名）

(ロ) 授業実践期間

平成14年9月2日から9月30日

(ハ) 指導計画

単元名「本の世界を広げよう」

（読むこと）・・・15時間

イ 授業実践の概要

指導試案に基づいて作成した学習指導案にしたがい授業実践を行った。

次ページ【資料-1】は、授業実践の概要と児童の活動の様子である。

【表-3】検証計画

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
読書意欲の高まり	＜構成要素＞ ・かかわろうとする意識 ・読み取る力 ・考える力	①質問紙法（評定尺度法）により事前事後に実施する ②学習指導過程における児童のノートの記事 ③抽出児童における学習の様子 ①テスト法により事前及び事後に実施する ②学習指導過程における児童の活動の様子	① χ^2 検定（変化の検定）により分析し考察する ②各段階の状況を分析し考察する ③知的好奇心、探究心、満足感の三つの観点により分析し考察する ④t検定（平均の差の検定）を行い分析し考察する ⑤総合的に分析し考察する

【表-4】調査計画

調査項目	観点	方法
手だてに関する意識の状況	①興味・関心 ②方略 ③有用感 ④意欲	・評定尺度法及び自由記述の質問紙法により実践後に実施し、プラス反応、マイナス反応の割合から分析する ・自由記述は、①～④の観点により分類し、記述の内容を分析する

【資料－１】授業実践の概要と児童の活動の様子（ゴシックは学習活動における「アニメーション活動」を示す）

活動	自分の視点で内容をとらえる活動	
作戦	作戦3「名探偵はわたしだ！」（3／15時）	作戦4「本のかげらが語り出す」（4／15時）
学習活動	<p>1 小グループに分かれ、探偵事務所を作る</p> <p>2 学習課題をつかむ</p> <p>3 グループ毎に調査問題に取り組む</p> <p>みなさんには、物語のなかでいろいろな言葉を手がかりに想像を膨らまして推理する探偵になってもらいます。グループ毎に探偵事務所の名前を付けてください。</p> <p>松井さんについて調べてください。みなさん、探偵なんだから、証拠をちゃんと探してください。</p>  <p>53ページで「にこにこして答えた」ってあるから、やさしい人なんじゃないかなあ・・・</p> <p>4 調査結果について話し合う</p> <p>55ページで男の子をがっかりさせないように夏みかんを置いたら、やさしい人だと思います。</p>  <p>思いやりのある人だと思います。54ページでぼうしがふきとびそうだからつまみあげたから。</p>	<p>1 提示されたカードを読み、言葉のもつ感じが違うことを確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 空を白い鳥が飛んでいました。 空を黒い鳥が飛んでいました。 <p>2 学習課題をつかむ</p> <p>3 グループ毎に感じが表れている言葉を探す</p> <p>緑のやなぎの木が涼しい感じがするよ。</p>  <p>自然がいっぱいって感じがするなあ。</p>  <p>4 言葉のもつ感じについて話し合う</p> <p>いろいろな色が出てくるから、明るい感じがします。</p> 
教師の発問		
児童の発言・つぶやき		
ノートの記述	<p>5 本時の学習を振り返る（記述）</p> <ul style="list-style-type: none"> 名たんていになって、女の子の行方をさがしたりしておもしろかったです。 最初は女の子はちょうとは思わなかったけど、ちょうだったのでびっくりした。 	<p>5 本時の学習を振り返る（記述）</p> <ul style="list-style-type: none"> 白いぼうし全体からやさしい感じがしました。 色、におい、みんなそれぞれ感じるものが違うんだなあということが分かりました。みんなすばらしい考えをもっているんだなあと思いました。
活動の様子と考察	<p>すかかわらうと</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体の場では、なかなか自分の考えを発表できない児童も、グループのなかでは、自分の考えを話すことができていた。 証拠を見つけるために、何度も教材文に戻って読み返したり、教材文に線を引いたりしながら考える姿が見られた。 <p>読み取る力</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時では、女の子がどうして車から消えたのか分からなかった児童がほとんどだったが、この活動をとおしてちょうだったことを読み取り、なぜ消えたのかも合わせて考えることができた。また、主人公の性格についても、ただやさしいではなく、どんなやさしさをもっているのかをつかむことができた。 <p>考える力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの言葉の語感に目を向けたことで、作品を違う視点で味わわせることができた。 <p>「白いぼうし」の教材文の特徴である色やにおいについての表現の豊かさに気付かせることがねらいであった。児童はたくさん言葉からどういった感じがするか、イメージを膨らませることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの感じ方にしぼらなかったことで、児童に一人一人いろいろな感じ方があることに気付かせることができた。

活動	自分の考えを表現する活動	
作戦	作戦6「クイズ大作戦」(13、14/15時)	作戦7「本を囲んでわいわい話そう」(15/15時)
学 習 活 動	1 学習課題を確認する 2 「クイズ大作戦」のルールを確認する 3 <u>グループ毎にクイズを出し合う</u>  <p>これからクイズ大作戦を始めます。グループ毎に問題を出してください。他のグループは、話し合ってから1分以内に、答えを書いてください。最初は、「ぼうしねこはほんとかねこ」グループです。</p>	1 今までの学習を振り返る 2 学習課題を確認する 3 <u>今まで読んできた本について話し合う</u>  <p>みなさんは、お話のなかの人になって考えたことはありますか。</p>
教師の発問	 <p>その日は、なんの日だったでしょう。</p>	 <p>「くましんし」の熊になって考えてみるとむなししい気持ちになります。人間のせいで、山を追い出されたからです。</p>
児童の発言・つぶやき	 <p>確か・・・本を見て確認しよう</p>  <p>3月3日のひな祭り！</p>	 <p>みんなを楽しませるために不思議なことを書いたと思います。</p>  <p>「白いぼうし」の前にもいっぱい本があるですよ。一回書いたら、これ、おもしろいなあって書いたと思う。</p>
ノート の記述	4 得点を集計する  <p>ひな祭りの日です。</p> 5 本時の学習を振り返る(記述)  <ul style="list-style-type: none"> 本を読んだり作戦を考えたりいろいろなことをやったので、大変でした。書いたり答えを出したり楽しかったです。 楽しかったし、いろいろなクイズが分かりました。これからも本を読んでいきたいです。 クイズ大作戦、とってもおもしろかったです。分からなかった問題もたくさんあったので、もっとよく本を読まないとなあと思いました。 6 次時の学習活動を確認する	4 本時の学習を振り返る(記述)  <ul style="list-style-type: none"> 今日みんなとおもしろかったところやジーンときたところを言い合った。みんなが楽しかったところは、ぼくも同じだった。あまきみこさんは、本を一冊書けば、たぶん自分の世界がどんどん広がっていくんだと、ぼくは思いました。もっとあまきみこさんの本を読みたいです。 あまきみこさんの本は一つの話だけでも楽しいけれど、たくさん集まればもっと楽しくなって何回読んでも楽しい。車のいろは空のいろの本をたくさん出してほしい。 今日は、白いぼうしシリーズの日だったけど、わたしは発表できませんでした。わたしがおもしろかったのは、ねずみのまほうと、シャボン玉の森や、他にもたくさんおもしろかった本がありました。これからもいっぱいあまきみこさんの本を読めるといいし、他の人のおもしろそうな本やシリーズをさがせるといいです。
すか か わ ら う と の 意 識	<ul style="list-style-type: none"> 出題問題を作るため、友達と相談しながら何度も本を読み返す姿がみられた。 全作品を読み終えていない児童もあり、「もっと読んでいけば・・・」との声が聞かれた。学習以降の読書の動機付けになることが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> つぶやきやうなずきながら聞く、本を手取るなどの行動、本時の学習を振り返っての記述から、自分なりの感想もちり組みんでいたことがうかがわれた。 作者の思いを想像しての発言や学習を振り返っての記述から、多くの児童がシリーズ作品を読んだことで、読書の楽しさを味わうことができたと推測される。
活 動 の 様 子 と 考 察	<ul style="list-style-type: none"> 全部で9作品からの出題だったが、どのグループもあまり迷うことなく解答できていた。これまでの読書活動で、あらすじや登場人物について把握することがほぼできていたものと思われる。 グループ毎の解答の表現が多様であったため、出題グループは、どこまでを正答にしていれば、さらに話し合うことで、より正しく読み取ることができた。 	
考 え る 力		<ul style="list-style-type: none"> 自分と登場人物を比べて考えることで、主人公の心情をより深く考えることができていた。 本時の学習を振り返っての記述から、友達の発言を聞いて自分の考えをまとめていることが分かった。

(2) 実践結果の分析と考察

ア 読書意欲の高まりの状況

(ア) かかわろうとする意識の高まりの状況

かかわろうとする意識について評定尺度を設けて作成した意識調査を事前及び事後に実施し、その結果について分析と考察を行った。児童の変容状況をみるために χ^2 検定を行った結果、すべての調査項目に有意差は認められなかった。

これは、調査の意図していたことが、児童に十分に理解できるような文章表現になっていなかったことが要因の一つとして考えられる。また、事前から児童のかかわろうとする意識が高かったため、指導後との差が認められなかったことも考えられる。

次に、かかわろうとする意識の状況を学習指導過程におけるノートの記述からみる判断基準を【表-5】のように作成し、学習指導過程における児童の意識の状況について考察した。この記述は、各段階の終末に、それまでの学習を振り返って記述されたものであり、各段階順に知的好奇心、探究心、満足感の状況を示している。

【図-2】は、その状況を表したものである。この図から、各段階でA、Bの状況を示した児童が、80%以上を占めていることが分かる。

さらに、学習指導過程におけるかかわろうとする意識の状況を抽出児の学習活動の様子から考察した。抽出児は、事前調査の結果から、プラス傾向、平均的な傾向、マイナス傾向を示した児童から各1名、計3名を抽出した。本資料では、平均的な傾向であるb児の例について、かかわろうとする意識を表す行動及びノートの記述を、次ページ【表-6】のように分類し、考察を行った。【表-6】から、b児のかかわろうとする意識には、「アニメーション活動」が有効に働いたものと考えられる。また、他の2名の抽出児にも同様の傾向がみられていた。

以上のことから、有意差としては認められなかったものの、児童のかかわろうとする意識は高まる方向に向いているということが考えられる。

(イ) 読み取る力の高まりの状況

次ページ【表-7】は、読み取る力の高まりの状況について、学級全体の事前及び事後テストの結果を平均点、標準偏差及びt検定を用いて表したものである。

【表-7】に見られる結果から、有意差が認められなかった。

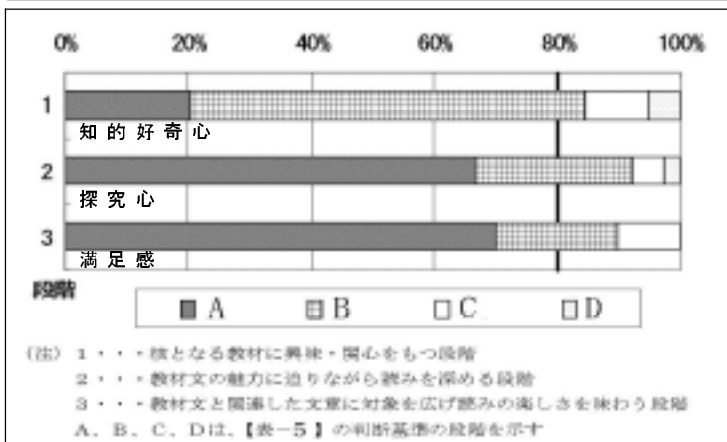
これは、各段階において、登場人物やあらすじについて把握したり、場面の様子を想像したりとい

【表-5】 学習指導過程におけるかかわろうとする意識の状況をみる判断基準

＜教材文について強く興味・関心をもつ段階＞	
段階	判断基準
A	教材文についての感想を具体的に記述している
B	教材文についての感想を記述している
C	教材文についての感想を記述しているが、十分ではない
D	無答

＜教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階＞	
段階	判断基準
A	登場人物の心情や情景、話の展開について考えを深めたことを記述している
B	登場人物の心情や情景、話の展開について考えている記述がある
C	登場人物の心情や情景、話の展開について考えている記述があるが、十分ではない
D	無答

＜教材文と関連した文章を対象を広げ読みの楽しさを味わう段階＞	
段階	判断基準
A	本を読んだことの価値に気付いたことを具体的に記述している
B	本を読んだことの価値に気付いたことを記述している
C	本を読んだことの価値に気付いたことを記述しているが、十分ではない
D	無答



【図-2】 学習指導過程におけるかかわろうとする意識の状況（ノートの記述） N=40（単位：人）

った「アニメーション活動」をしてきたが、一人一人の感じ方を大切にしたいため、全体での確認が十分になされないまま、次の活動に進みがちであったことによると考えられる。今後は、単位時間のまとめの際に、本時の「アニメーション活動」でどんなことが分かったのか、全体での確認を確実にすることが必要と思われる。

学習指導過程における児童の様子からは、自分の考えを表現する活動・作戦6「クイズ大作戦」(P76【資料-1】参照)において、どのチームからも登場人物やあらすじを把握したうえで出題がなされ、解答する児童も複数の作品からの出題であったにもかかわらず、ほとんど正しく解答できていた。また、自分の視点で内容をとらえる活動・作戦3「名探偵はわたしだ！」(P75【資料-1】参照)において、叙述をもとに想像をしながら登場人物の性格や行動を考えたり、作戦4「本のかげらが語り出す」(P75【資料-1】参照)においては、言葉からイメージを膨らませたりしている発言やノートの記述がみられた。

このことから、テストでは有意差は認められなかったものの、学習指導過程における児童の様子から、読

【表-6】 抽出児b児の学習活動の様子と考察

実施調査の結果		事前、事後調査の結果 (設問内容は本資料で省略)				
・恥ずかしいという気持ち強く、自分の考えを話すことに抵抗をもっている。 ・話を聞く活動やグループ活動については、抵抗感をもっていない。		事前	事後	事前	事後	
		知的好奇心	+3	+3		
		探求心	+2-1	+3		
		満足感	+2-1	+3		
段階	アニメーション活動	「かわろうとする意識」を表す行動	ノートの記述			
核となる教材文につき興味	あらすじをつかむ活動	作戦1 「ダウトをさがせ」 ・教材文の間違った範囲を聞き、間違いを当てる	知↑ 高まり 一停滞 <知>知的好奇心 知↑ 最初の範読を、読み仮名をふりながら真剣に聞いている。 拳手はするものの、自信がなさそうである。 [1]	知↑ <探>探求心 <満>満足感 遊内遊びのだけ、勉強もまざっているなんて思えません。おもしろかったです。またやりたいです。		
		作戦2 「物語ばらばら事件」 ・教材文をばらばらにしたカードを元通りにする	知↑ どのカードか嬉しそうに見る。渡されたカードを大きな声で読む。自分であるべき場所を判断し、移動する。他のグループが元通りに直すことができたか、教科書でチェックしている。	知↑ 車に乗っていた女の子が急にいなくなるのが不思議でした。		
教材文の魅力に迫りながら読みを深める段階	自分の視点で内容をとらえる活動	作戦3 「名探偵はわたしだ！」 ・グループ毎に、登場人物についてどんな人物が読み取る	知↑ 「松井さんって男なのか、女なのか」という問いに拳手。 松井さんについての調査では、同じグループの児童のノートを写している。どう調べていいかとまどっている様子。 [4]	満↑ 今日学習で分かったことは、女の子がちょうどということが分かりました。		
		作戦4 「本のかげらが語り出す」 ・作品中の言葉がどんな感じを表しているかまとめる	知↑ 導入での発問では、首をかしげながら考えている [2] 探↑ 教科書に線を引ながら考えているが、なかなかどう書いていかなかった様子。 探↑ 拳手し発言する。	満↑ 今日学習で分かったことは、一つ一つ感じがあるのが分かりました。		
		作戦5 「ぼくのタイトル、ナンバー1」 ・自分の読み取った内容を短くまとめる	知↑ どのタイトルにしようかあごに手を当てて考えている。 探↑ 教科書をとじたままで、タイトルを書く。 探↑ いろいろなタイトルがあることに興味を示す。楽しそうにナンバー1タイトルを決めている。 満↑ まとめ感想を、これまでのノートを見ながら、振り返る。	満↑ 最初は、「どうして女の子が消えただろう」と思っていました。だけど、勉強しているうち、「女の子はモンシロチョウだったんだ」と分かりました。前より内容が分かったような気がします。 [5]		
教材文と関連した文章を対象を広げ	自分の考えを表現する活動	作戦6 「クイズ大作戦」 ・本の内容についてクイズを作る ・自分たちが作った問題を出し合い、正答を競う	知↑ 問題作りやクイズ大作戦の準備をグループの中心になって行っている。 [3] 探↑ 問題を大きな声で出題している。 満↑ クイズの答えを、友達と話し合いながら探している。つぎやきも多く、楽しんでいる様子。	満↑ 全問は答えられなかったけれど、楽しかったです。みんな問題が難しかったです。よくこんな問題を思いついたなあと思いました。またやりたいです。今度やる時は、全問答えられるようにしたいです。		
		作戦7 「本を囲んでわいわい話そう」 ・シリーズ作品の感想をもつ ・読書について考え、話し合う ・学習を振り返って、感想をもつ	知↑ 友達の発言を聞いて興味は示しているが、発言には至らない。 探↑ 地図に乗客名が書かれたタクシーが貼られていく様子に特に興味を示す。 探↑ 友達の発言を聞いて、本を手に取り始め、めくり始めた。	満↑ 今まで白いぼうしを勉強してきた、みんな集中して勉強していたと思います。わたしが、一番心に残ったのは、「きりの村」です。しずんだはずの村があつて、その村ではちようどお祭りでした。他にもいろいろありました。二番目は、「しらないどうし」です。空襲でおくさんと息子を亡くした人の話です。あまきみくんは、すごいお話を書くなあと思いました。おもしろい話ばかりでした。また読みたいです。 [6]		

<考察>
知的好奇心をみていくと、単元や単位時間の最初には、[1]や[2]のように停滞がみられることがあったが、活動が進むにつれ、[3]のように高まりがみられている。同様に探求心においても、[4]のような停滞が活動の後半にはみられない。b児においては、「アニメーション活動」を繰り返す行いで、安心して活動に取り組むことができ、高まりにつながったと思われる。さらに、[5]、[6]からは、満足感があつたと思われる。記述内容をみると、[6]では、教材文を理解したことについて抱いた満足感が、[6]では、ファンタジー作品のおもしろさにかかわっての満足感が高まっている。これは、自分の考えを表現する活動で、多くの作品にふれ、感想を話し合ったことによるものと思われる。

【表-7】 「読み取る力」の高まりの状況

N=40 (単位:人)

項目	事前テスト		事後テスト		相関係数	tの値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
字級 (40名)	6.06	2.17	6.38	1.86	0.56	1.08	-

(注) 1 事前テストは9月2日、事後テストは9月27日に実施した。
2 本試験は、t検定において、有意水準5%で有意差があることを示している。
3 総問は3問で、1問につき3点満点、計9点満点とした。
4 t検定に用いた公式は次のとおりである。

$$t = \frac{(\bar{X}_2 - \bar{X}_1)}{\sqrt{\frac{S_1^2 + S_2^2 - 2S_1S_2}{n-1}}}$$

\bar{X}_1, \bar{X}_2 : 事前、事後テストの平均点
 S_1, S_2 : 事前、事後テストの標準偏差
 n : 相関係数 n は人数

み取る力は好ましい方向に向いていると考えられる。したがって、短期間で大きく変容はしていないが、単位時間の学習活動のまとめを確実にし、継続して指導することによって、読み取る力はさらに高まっていくと思われる。

【表－8】「考える力」の高まりの状況

N=40 (単位：人)

項目	事前テスト		事後テスト		相関係数	tの値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
学級	4.90	2.71	6.08	2.32	0.72	3.87	*
学級(40名)							

(注) 表の【表－7】の(注)と同じである。

(ウ) 考える力の高まりの状況

【表－8】は、考える力の高まりの状況について、学級全体の事前及び事後テストの結果を平均点、標準偏差及びt検定を用いて表したものである。

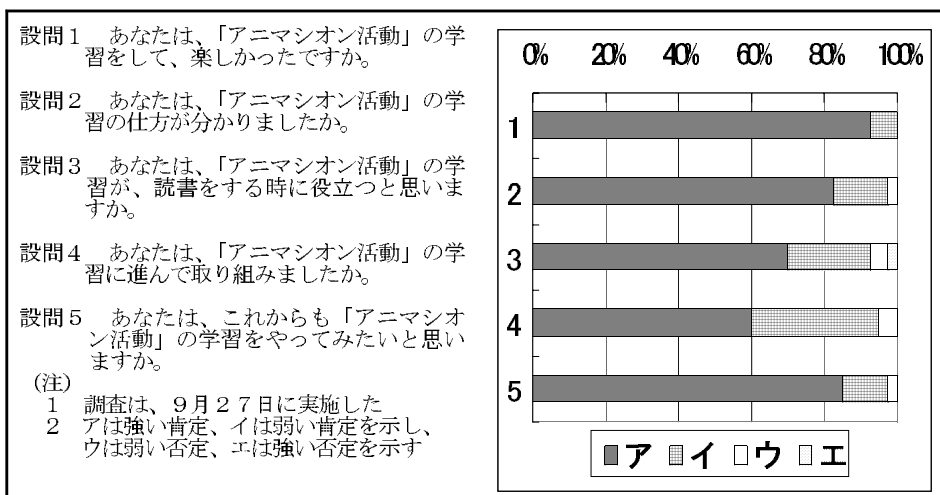
【表－8】から、t検定の結果、有意差が認められた。

これは、自分の視点で内容をとらえる活動・作戦4「本のかげらが語り出す」や作戦5「ぼくのタイトルナンバー1」(本資料では省略)をしたことで、いろいろな感じ方や考え方があってよいことに気づき、自分の考えを表現する活動・作戦7「本を囲んでわいわい話そう」(P76【資料－1】参照)をしたことで、登場人物になったつもりで行動を考えたり、友達の考えを聞きながら自分の考えをまとめたりできるようになったためと考えられる。

以上、読書意欲の構成要素として「かかわろうとする意識」「読み取る力」「考える力」をあげ、検証してきた。前述のとおり、「かかわろうとする意識」「読み取る力」の変容状況については、有意差が認められず、「考える力」については、その有意差が認められた。しかし、「かかわろうとする意識」については、児童の学習指導過程における意識の状況、抽出児の学習活動の様子から、高まる方向に向いていると考えられる。また、「読み取る力」についても、有意差は認められなかったものの、児童の活動の様子から、好ましい方向に向いていると思われる。こうしたことから、文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案に基づく指導は、読書意欲の高まりに効果があったと考えられる。

イ 手だてに関する意識の状況

右の【図－3】は、手だてに関する意識の状況をみるために、「『アニメーション活動』を取り入れた学習に関する意識」について調査し、指導の手だてが児童にどのように受けとめられたかを表したものである。



【図－3】「アニメーション活動」を取り入れた学習に関する意識

N=40 (単位：人)

【図－3】をみると、五つの設問のすべてにおいて90%以上の児童が肯定的な反応をしていることが分かる。特に、興味・関心についての設問1「あなたは、『アニメーション活動』の学習をして、楽しかったですか」に関しては、全員が「楽しかった」と感じており、自由記述でも興味・関心についての好意的な記述が多かった。「アニメーション活動」のもつゲーム性が児童の興味・関心を引きつけた結

果であると思われる。

このことから、文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案に基づく指導は、児童に好意的に受けとめられたと考える。

5 小学校国語科における読書意欲を高める学習指導に関する研究のまとめ

これまで、指導試案に基づく授業実践を行い、実践結果の分析と考察をとおして、その妥当性を考察してきた。そこで、読書意欲を高める国語科の学習指導について、成果と課題の二点についてまとめる。

(1) 成果

ア 「アニメーション活動」のもつゲーム性が児童の興味・関心を引き付けたことで、児童は、抵抗感を抱くことなく、楽しみながら、教材文から関連する文章へと読みの対象を広げることができたこと。

イ 言葉や表現に着目して「アニメーション活動」をしてきたことで、児童は、登場人物の特徴、行動やあらすじを把握し、想像を膨らませて読むことができるようになったこと。

ウ 「アニメーション活動」の際、考えを話したり友達の考えを聞いたりさせたことで、児童は、いろいろな感じ方や考え方があってよいことに気づき、自分の考えを深めることができるようになったこと。

(2) 課題

ア 本を読んだ感想を抵抗感を抱くことなく表現できるような「アニメーション活動」を開発し、継続的に行うこと。

イ 単位時間の振り返りの際に全体での確認を十分にし、単位時間のねらいを達成できるように留意すること。

以上のことから、課題はあるものの、文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れた学習指導についての指導試案は、妥当であったと考えられる。

V 研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

この研究は、文学的な文章の指導に「アニメーション活動」を取り入れることにより、読書意欲を高める学習指導について明らかにし、小学校国語科の学習指導の充実に役立てようとするものであった。その実践結果を、読書意欲の高まりの状況から分析と考察を加えることにより、仮説の有効性の検討にあたってきた。その結果、仮説の有効性について見通しをもつことができた。

2 今後の課題

あらすじをつかむ、自分の視点で内容をとらえる、自分の考えを表現する「アニメーション活動」のバリエーションを増やし、いろいろな文学的な文章の指導に対応して実践を重ねていくこと。

【参考文献】

モンセラット・サルト著	「読書で遊ぼうアニメーション」	柏書房	1997年
岩辺泰吏著	「ぼくらは物語探偵団」	柏書房	1999年
国立教育研究所	『「生きる力」をはぐくむ読書教育のあり方』		2000年
M・M・サルト著	「読書へのアニメーション 75の作戦」	柏書房	2001年

